

## 5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和6年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	433.7	0	411.7	0	435	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	11.6	0	14.4	0	4.5	0
米粉用米	0	0	0	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	2	0	1.8	0
WCS用稲	426.8	0	449.3	0	420	0
加工用米	0	0	0	0	0	0
麦	21.5	20.7	22.3	21.4	25	22
大豆	0	0	0	0	0	0
飼料作物	669	499.9	583.1	464.7	180	470
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	0.1	0.1	0	0.1	0	0.1
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	58	0	51.8	0	60	0
・野菜	42	0	36.4	0	43	0
・花き・花木	1	0	1	0	1	0
・果樹	1.9	0	2.4	0	2	0
・その他の高収益作物	13	0	11.9	0	14	0
その他						
・〇〇						
畑地化			63.5			

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	(R4年度)	(R5年度)
				前年度(実績)	目標値
1	飼料用米	飼料用米担い手加算 (基幹)	作付面積 (ha) 反収 (kg/10a)	10.64 513	12 660
2	ブロッコリー、オクラ、スッキーニ、ニンニク 類、薬用作物、トカラシ、カキ チヤ、タマシ	重点品目助成 (基幹)	作付面積 (ha)	17.19	22
3	麦、飼料作物、そば	二毛作助成 (二毛作)	二毛作の作付面積 (ha) 水田利用率 (%)	520.74 90	530 100
4	飼料作物、WCS用稲、飼 料用米	資源循環の取組 (耕畜 連携 基幹・二毛作)	取組面積 (ha) 飼料作物等 作付面積 (ha) 実施率 (%)	364.22 1112.61 32	400 1120 35
5	野菜、花き・花木、果樹、 雑穀等	振興作物助成 (基幹)	作付面積 (ha)	40.85	42
6	麦	担い手加算(基幹・二毛 作)	作付面積 (ha)	19.77	25
7	新市場開拓用米	新市場開拓用米取組拡 大助成 (基幹)	取組面積 (ha)	0	2

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

## 7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:熊本県

協議会名:錦町農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	飼料用米担い手加算(基幹)	1	13,000	飼料用米	担い手による肥培管理の実施、出荷業者への出荷、多収品種の導入。
2	重点品目助成(基幹)	1	24,000	ブロッコリー、オクラ、ズッキーニ、ニンニク類、薬用作物、とうがらし、かぼちゃ、たまねぎ	肥培管理の実施、出荷業者への出荷。
3	二毛作助成(二毛作)	2	9,000	麦、飼料作物、そば ※飼料作物の範囲は別紙3のとおり	二毛作の作付体系は、①主食用米と対象作物、②戦略作物と対象作物、③対象作物同士とする。
4	資源循環の取組・わら利用の取組(耕畜連携・基幹)	3	9,000	飼料作物、WCS用稲、飼料用米 ※飼料作物の範囲は別紙3のとおり	1年間以上の利用供給協定を締結して、飼料作物生産水田への堆肥散布の取組を行う。
4	資源循環の取組・わら利用の取組(耕畜連携・二毛作)	4	9,000	飼料作物 ※飼料作物の範囲は別紙3のとおり	1年間以上の利用供給協定を締結して、飼料作物生産水田への堆肥散布の取組を行う。
5	振興作物助成(基幹)	1	10,000	野菜(整理番号2の重点品目は除く)、花き、花木、果樹、雑穀、その他作物(薬用作物を除く) ※具体的な作物は別紙5のとおり	肥培管理の実施、出荷業者への販売。
6	担い手加算(基幹)	1	8,000	麦	担い手による肥培管理の実施、出荷業者への販売。
6	担い手加算(二毛作)	2	8,000	麦	担い手による肥培管理の実施、出荷業者への販売。
7	新市場開拓用米取組拡大助成(基幹)	1	10,000	新市場開拓用米(輸出用米)	新規需要米取組計画の認定を受けること

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。